リソース監視ツール

■目的

・刻々と変化するリソース(DB、ワークファイル等)の半リアルタイムに監視し、

変更点を時系列に記録・確認できるツールを作成することで、調査フェーズの工数削減を目的とする。

■仕様

- ・定期的にDBを監視し、前回の監視時と比較して差異があったレコードのみを表示・記録できること。
- ・レコード内でも差異のあった列は色付きで表示し、変更点が瞬時に判別できるようにすること。
- ・記録した結果はExcel形式のファイルにエクスポートできること。(色付きで)
- 監視対象のテーブル、列名等は外部ファイルで定義・読み込みできること。(後からの編集が容易に出来るよう極力単純なフォーマットにすること)
- ・表示するレコードは時系列で表示され、昇順・降順でソートが可能なこと。

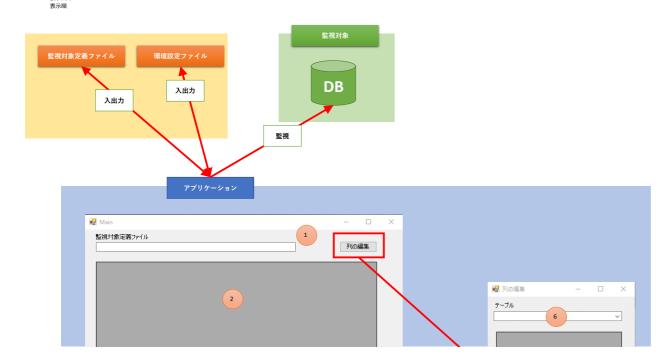
■設計ポリシー

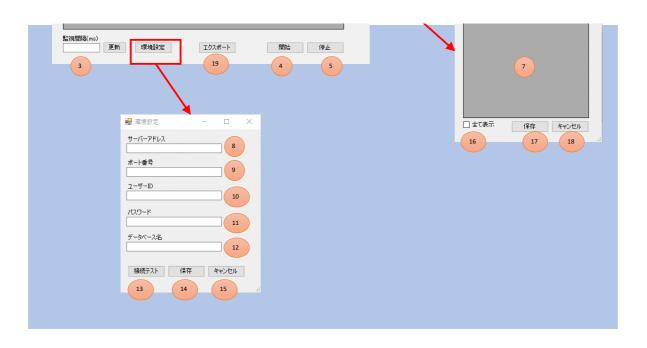
・フェーズ1ではDBのみを監視対象とするが、将来的にはフォルダ・ファイル等も視野に入れた設計とする。

・フェーズ1ではPostgreSQLのみを監視対象とするが、将来的にはSQL Server, Oracle等のDBに対応できる設計とする。

■外部ファイル

```
    環境設定ファル
XML形式
    監視対象定義ファイル
XML形式
    デーブルを義は以下を定義可能。
テーブル
表示フラグ
    列名
PK/フグ
表示フラグ
```





No	項目	説明	備考										
1	監視対象定義ファイル	監視対象定義ファイルのバスを指定する。 ドラッグアンドドロップ可 初期値はexeと同じフォルダにある監視対象定義ファイルのバス											
	監視結果グリッド	変更(追加・削除・更新)があったテーブルの列、時間が表示される。 (右のイメージを参照)	# 日時 テーブルA Aの列1 Aの列 PK Aの列			ーブルB Bの列1 PK	Bの列2 PK	Bの列3		テーブルX	Xの列1	Xの列2	I
		全ての列はソート(昇順・降順)が可能。	1 2019/01/02 12:34:56.789 t_hoge 123 apple			_fuga 2	FALSE	england	***	m_abc	1111	2	1
		変更があったセルの背景色には色が付く(監視対象定義ファイルでRGB	2 2019/01/02 12:34:55.789 t_hoge 123 appl 3 2019/01/02 12:34:54.789 t_hoge 456 appl			_fuga 1 fuga 1	FALSE FALSE	england		m_abc m abc	1111 1111	2	+
		で指定可)	4 2019/01/02 12:34:54.789 t_noge 456 applied 4 2019/01/02 12:34:50.789 t hoge 4 2019/01/01/01/01/01/01/01/01/01/01/01/01/01/			_ruga 1 fuga 1	FALSE	usa		m_abc m abc	1111	2222	4
		(相处可)	5 2019/01/02 12:34:40.789 t hoge 1 appl			fuga 1	TRUE	usa		m abc	1111	2222	+
			6 2019/01/02 12:34:39.789 t_hoge 1 banar			_fuga				m_abc	1111	2222	Ť
2			7 2019/01/02 12:34:38.789 t_hoge 1 banar	ia	TRUE t	_fuga				m_abc	0	2222	Ι
			・・日時列は下が古く、上が新し、テーブJKAの場合、#2,4,5 のレコードで変す い。 ・監視対象のテーブルが全て前 回に同じ値の場合は起源しな い。(肥大化防止)		つい7 #50	ブルBの場合、#1,2,4,5 ている シレコードはINSERTなの こなっている。							
3	監視間隔	監視間隔をシリ砂で指定する 数値のみ入力可 初期値は1000 更新ポタン押下で反映される											
4	開始	監視を開始する 監視中は、監視間隔で監視結果グリッドが更新される。											

Xの列n

5	停止	監視を停止する	
	テーブル名コンボボックス	 監視結果グリッドに表示するテーブルを選択する。	
		選択すると、⑦の列名グリッドの内容が選択したテーブルの列に変更され	
6		る。 コンボボックスの選択肢は監視対象定義ファイルから取得する。	
	列名グリッド	監視結果グリッドに表示する列の表示有無、表示順を変更する。	
		<グリッドイメージ>	
		表示有無 列名 Column name1	
		☑ Column name2	
7		☑ Column name3	
′			
		☑ Column nameN	
		表示順は 行をドラッグ して変更する。	
	サーバーアドレス	PostgreSQLが可動するサーバーのIPアドレス	
8	3 // // //	デフォルトは 127.0.0.1	
	ポート番号	PostgreSQLのポート番号	
9		数値のみ入力可	
9		デフォルトは <u>5432</u>	
	ユーザーID	PostgreSQLのユーザーID	
10		デフォルトは <u>postgres</u>	
11	パスワード	PostgreSQLのパスワード デフォルトは空	
	h h		
12	データベース名	PostgreSQLのデータベース名 デフォルトは <u>smartprint</u>	
	接続テスト	接続テストを行う。	
13		結果はメッセージボックスで表示	
	保存	No.8~12を環境設定ファイルに保存する。	
14		保存したらダイアログは閉じる。	
1-7			
	h. S. Lad		
15	キャンセル	保存せずにダイアログを閉じる。	
	全て表示 表示有無のチェックボックスを全てONまたはOFFにする		
16	1	EXAMPLE CONSCISO LICE	
	保存	編集した内容を監視対象定義ファイルに保存する。	
17		保存したらダイアログは閉じる。	
	キャンセル 保存せずにダイアログを閉じる。		
18	T 1 / C/V		
	エクスポート	監視結果グリッドをExcel形式のファイルに保存する。	
19		保存時は、名前をつけて保存するダイアログを表示し、保存先を指摘可	
19		能。	
			<u> </u>